

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	消防体制強化整備事業	会計	一般会計	事業No.	640	施策順No.	41-025
事業種別	政策・重点	予算科目		9-1-3-11-2			
政策	4 暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり						
施策	41 災害対策の推進	事業期間	開始	13	終了		

1 事業の目的

事業の目的 は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象 誰、何に	①消防車両 ②消防水利							A:十分達成した B:どちらかといえば達成した C:どちらかといえばできていない D:ほとんど達成できていない
		具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度		
	意図 対象をどう変えるか	①更新を必要とする消防車両台数	6	6	5	5	5		
		②新設計画貯水トン数	180	0	0	180	0		
22年度の目標達成度に対する振り返り 【政策的事業のみ評価】	想定する災害あるいはそれ以上の災害に備える体制を整え、機関の適正運用及び消防水利の整備、増強を図る。	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度 実績	20年度 実績	21年度 実績	22年度 目標	22年度 実績	23年度 目標	目標達成度
		①車両の更新 年度更新台数÷計画台数(%)	100	100	100	100	100	100	A
		②貯水の増設 年間トン数÷計画トン数(%)	100	0	0	100	100	0	
9次防までの堅実な進行管理に加え、最終年度の10次防先取りによる付加価値をつけた事業達成ができた。									

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度 (仕組み)説明	・平成22年度までの5箇年計画である第9次消防力(消防団)整備計画による、車両の更新及び防火貯水槽の整備事業を行うことで、消防力の維持増強を図ってきた。平成23年度から平成27年までの10次消防力(消防団)整備計画に基づき消防力の維持増強を図る。		
22年度 事業内容	事業内容	名称	活動量・単位
	1 消防自動車等の整備 (1)消防ポンプ自動車(龍江) (2)小型動力ポンプ付積載車(芦の口班、下黒田東班、上黒田班、飯沼下班) (3)小型動力ポンプ付搬送車 2 登記委託事業(殿岡、本町) 3 耐震性貯水槽の整備(新井100トン、切石40トン、南平40トン)国庫補助	1 更新する消防自動車 (1)CD-1 (2)普通車両 (3)軽車両 2 登記する詰所 3 設置する貯水槽	1 5台 (1)1台 (2)4台 (3)0台 2 2 3 180トン
23年度 実施計画	1 消防自動車等の整備 (1)消防ポンプ自動車(南信濃) (2)小型動力ポンプ付積載車(尾林班、八幡班、中村班、下村班) (3)小型動力ポンプ付搬送車 (4)小型動力消防ポンプ(C-I)(南信濃)	1 更新する消防自動車 (1)CD-1 (2)普通車両 (3)軽車両 (4)小型ポンプ	1 5台 (1)1台 (2)4台 (3)0台 (4)1台

3 事業コスト

事業費	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項	(地)消防・防災施設(充当率90%) 施設整備(一般財源化分)(充当率100%) (地)一般補助施設整備(充当率90%) (国)消防防災施設整備費補助金(1/2)
	国庫支出金	9,190	9,190	0		
	県支出金					
	起債	27,100	35,700	36,100		
	その他					
	一般財源	19,485	10,784	2,780		
	計 (A)	55,775	55,674	38,880		
正規職員所要時間		500				
臨時職員等所要時間						
人件費計 (B)		1,788				
トータルコスト A+B		57,462				

4 事業に対する市民や議会の意見

・消防委員会より、消防車両は重要設備につき国庫補助が不採択となった場合においても配備すべきもの、計画的な整備を求める。貯水槽は、東海沖地震が予想される中で地震に対する防災意識が高まり、設置要望がある。但し、零細補助となる要件をクリアするため3年に一度の計画年度に加えて、補助金対象にならない年度(平成24年度)から今年度が除外されることを隨時説明してきた。
過疎事業費充当案件については上村・南信濃地域のまちづくり委員会との調整を行ってきた。

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	・市民、市内滞在者、財産の災害や火災の被害を軽減する。	施策の成果指標又はムース指標	市民が災害にそなえている割合(%)
				火災発生件数(件)
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	・第9次消防力(消防団)整備計画の施設整備(耐震性貯水槽・更新車両)においては完全履行を行った。		
		・小型動力ポンプ付積載車及び搬送車の10次防の具現化。耐震性貯水槽においては、現在までのRC製品から今後の導入の循環水鋼製タンク導入も必要である。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をしてきましたか	4年間の振り返り	・9次防最終年度に第10次防計画を先取りし、消防ポンプ車は基幹ポンプ車の位置づけによりC—Iポンプ積載を行った。また、実災害と消防ポンプ操作法どちらにも適した車両への仕様変更を行い、小型動力ポンプ付積載車においては二十数年ぶりに仕様変更を行ない「環境」「安全」「先進性」を具備させた。特に小型動力消防ポンプについては、4サイクルエンジン導入を行った。積載車は環境対策と動力性能の両立を図った。		
		・44台ある積載車のグレードアップは、多くの団員の悲願であり、必要な資機材のグレードアップは消防団員の士気向上が顕著である。この点を踏まえてグレードアップを図っていきたい。		
コストを削減するためにどのような工夫をしてきましたか	4年間の振り返り	・最終年度の仕様変更により、金銭的にはコストアップがみられたが、新規資機材は人的な負担軽減と安全対策により実質的なコスト削減を実現している。また、梯子など仕様変更を行うことにより使いかってのよさとコストダウンの両立を図った。		
		・車両グレードアップとコストダウンの折り合いをつけるかが課題である。地区によっては消防ポンプ自動車から小型動力消防ポンプ付積載車の転換など検討する必要がある。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	・適切であった。但し、積載車における仕様が他市町村と比較して最終年度以外は低レベルであった。		
		・団員及び導入地域からの賞賛され、今後もこの関与状態を継続していくことが肝要であり、適切であった。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を発揮するために、行政はどのような働きかけをしてきましたか、又は、配慮してきましたか	4年間の振り返り	①主体は消防団員と地域住民等であり、団員が使用する必要かつ十分な機関機材導入を図られることにより、消防団員は士気向上が地域住民・市内在住者は安全・安心が図られた。地震対策消防防災施設である耐震性貯水槽の設置は安全・安心に確保に寄与した。 ②主体である消防団と地域住民は地域防災力として主体である部分とを併せ持つので、行政としてはよりよい機関機材の導入と耐震性貯水槽等施設整備を更新整備及び適正配置地に配慮し域防災力向上に貢献してきた。		
		①主体となる消防団は、その士気高揚が限界効用逓減とならないための施策の継続が必要で、地域住民等に対しては、耐震性貯水槽の設置場所確保が困難であることから適正な設置場所の確保に理解をしていただくことが課題である。 ②主体である消防団と地域住民は地域防災力の要であり、行政として先進性と限界効用逕減を防ぐための改善を働きかけ、その有用性と有用性の理解促進や施設設置場所確保についての働きかけをしてきた。		
全体を通じて	4年間の振り返り	・施設整備(耐震性貯水・消防ポンプ自動車・小型動力付きポンプ積載車及び搬送車)については、仕様変更以後においては極めて消防団員及び住民の満足度が高いものとなった。		
		・10次防の具現化及び東海・東南海地震対策のための仕様変更。耐震性貯水槽は、ろ過装置等を用いなくても飲用可能な循環式の貯水槽の整備を行っていくことが必要である。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	--	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	-------------------------------	--------------------------------	-----------------------------------